



トライアルデーと道德教育

5月30日に行われましたトライアルデーで、1年生は福祉体験学習、2年生は職場体験学習、3年生は高校訪問を行いました。各学年のトライアルデーの取組と並行して、道德の時間もその内容に関連する資料で取り組んでいます。道德の時間に考えたことが生徒の経験と交わることで、さらに考えを深めることができると考えています。

今回はリンクさせた資料の中から、1年生が「星野富弘さんの生き方から」と「車いすの少年」から、2年生が「魔法の右手」、3年生が「おはようございます」の生徒の感想を紹介します。生徒の感想をもとに、お家ででの会話のきっかけにいただければ幸いです。

1 年 生

「星野富弘さんの生き方」

テーマ：生命の尊重

体育の先生になってから体操部の練習中に着地に失敗して首から下が動かなくなってしまった星野富弘さん。様々な苦しみを乗り越えて、見る人の心を打つ素敵な絵を描き続けています。そんな星野さんから色々学びました。

- 私だとは星野さんを初めて今日知りました。体が不自由で口で筆をくわえて、絵を描いていることを知りました。星野さんはみんなよりも倍、苦労しているし、私は星野さんが描いた絵を見てとても驚きました。体の自由がきかなくてもこんなすごい絵を描けるのはとてもすごいことだと思いました。私は今回の授業で障がいのある人達をもっと知って、その人のために何が出来るか考えていきたいです。

「車いすの少年」

テーマ：公正・公平

イギリスに行ったとき、少年の車いすの車輪が道の段差にひっかかって動けなくなってしまいました。その様子を見ていた周りの大人たちが取った行動をみて、作者は驚きました。



- 車いすの少年に出会って助けてあげようと思ったのに周りの人たちは自力で頑張っている少年を見守ってあげようとする考えを持つのもいいのかなと思いました。改めて私は、自力で頑張ろうとする人に手を出すのではなく、周りの所から、「がんばれ」と心から見守るということも勉強になりました。でも私は困っている人を助けてあげるということも大切なことだと思いました。

●はじめ、この話の主人公は車いすの少年を助けようとして、外国人に「ノー、ノー」と、止められました。私は何でこの人達は主人公が親切な心で助けようとしたのに、止めるんだろう・・・この人達は優しい心がないのかなあ、とっていました。でも読み進

めるうちに助けてあげるという優しさだけでなく、自分の力で対応できるように応援してあげるといふ優しさもあるということに気づきました。

- 福祉体験でも困っている人を見つけてすぐに助けてあげるのではなく、自分で起き上がる様に向け声をしてあげることをしてないといけななと思ひました。そして起きられたらいっばいうれしいときもあるんだと思ひました。

2 年 生

「魔法の右手」

テーマ：働く事の意義

高度な技術をもつ機械技術者の加藤さんは、ある日、仕事の事故で右手の3分の2を失う。「右手を使えない」という絶望の中、妻の支えもあり、左手で右手にはめる装具を2年もかけて完成させる。以前と同じ仕事を自分自身の力で可能にした加藤さん。今は手足が不自由な人のために、装具を作る福祉関連の仕事で人々に貢献している。

- 働くということは、自分だけ得したり幸せになつたりするのじゃなくて、他の困っている人にも、手をさしのべてあげるのが、本当の働くという事じゃないかなと思ひました。だから加藤さんは他の手を失った人たちに出きないことを出来る様にする喜びを感じて欲しかったのだと思ひます。私も人を助けられる様な働きをしたいと思ひました。
- 一度手を失い、絶望のどん底に落ちたのに頑張っている左手に共感しそこからはい上がる熱意がすごいと思ひました。失った物は右手だけかもしれないけれど、はい上がって右手でもつかめるはしを開発したとともに、ものをつかめること、あきらめない心、新しい技術と心を加藤さんは手に入れたのだと思ひました。加藤さんは自分の持っている技術を不自由な人のために使い、その人が喜び姿が見たいから辛くてもこの仕事を続けるんだと思ひます。



3 年 生

「おはようございます」

テーマ：礼儀

早朝の学校で女子生徒に「おはようございます」と声をかけられた外山さんは、唐突のことで頭を下げただけであいさつを返さなかつた。礼儀知らずな大人だと思われたのではないか、とあとで思い出すたびに身が縮む思いがする。そんな外山さんから礼儀を欠いた行為をした自分を恥じる気持ちが伝わってくる。このエッセイから「あいさつの持つ力」さらには「礼儀の意味」について考えました。

- 「おはようございます」の言葉は「礼儀」だと思ひます。なぜかといふと、礼儀といふ言葉や行動などの意味を分かていなかつたら、あいさつされても何も分らないので、あいさつの本当の意味を知らないといふ挨拶されても相手に反応することができななと思ひます。挨拶することはとてもよいことだと思ひ、挨拶をした人も気持ちが良いし、された人も気持ちが良いと思ひ。自分が一番思ふのが、挨拶はコミュニケーションだと思ひます。挨拶は心の会話でもあると思ひました。
- 私は挨拶をされると、この人いい人だなとか、礼儀正しいなとか、いろいろ感じます。でもそれは当たり前のことじゃなくて、特別な事なんだと思ひます。挨拶をされるといふことは、その人がちゃんと自分のことを見てくれているといふことなんだと思ひます。この話の様に見知らぬ人から挨拶されたら、少し戸惑うけど、ちゃんと自分のことを見てくれているんだと思ひて、返したいと思ひます。

